



新しい命が もう一つのいのちを救う
認定NPO法人
兵庫さい帯血バンクだより

第22号
2012
9

<http://www.saitaiketū.org>



臍帯血バンクなどに関する新法の成立

認定NPO法人兵庫さい帯血バンク
理事長 後藤 武

つい先ごろ（9月6日）、「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」が衆議院本会議で、可決・成立しました。非常に長い名前の法律ですが、臍帯血バンク関係者も、以前から要望してきていたもので、その制定を心から喜んでいます。

造血幹細胞（骨髄・末梢血幹細胞・臍帯血）移植は、その治療成績の向上や高齢化に伴ってニーズが増加していますが、新法では、移植に用いられる臍帯血などの安全性の確保を図ること、また、移植が必要とされる患者さんが公平でよりよい移植を受けられるようにすることなどが謳われています。

兵庫さい帯血バンクのように患者さんに臍帯血を提供する公的臍帯血バンクは、財政上の問題もあって、最近、統合・整理が進み、本年4月からは、全国で8施設が活動するのみとなっています。しかし、新法の成立によって、バンクに対する補助の規定も明らかにされましたので、バンクの安定的な事業運営上も望ましいことだと思っています。また、これまで、臍帯血バンクに対しては規制がなく、各バンクの自助努力によって臍帯血の品質の確保が行われてきましたが、今後は国の許可制となりますので、安全な臍帯血の確保に必要な施設・設備の整備のほか、適切な業務の遂行が求められることとなります。

兵庫さい帯血バンクとしては、今後、できるだけ早期に国からの許可を受け、これまで以上に安全で良好な品質の臍帯血を多くの患者さんに提供できるよう努めて参りますので、引き続き、ご支援・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

高齢者血液疾患のさい帯血移植の難しさ



地方独立法人東京都健康長寿医療センター
血液内科部長 宮腰 重三郎

私が勤務する東京都健康長寿医療センターは、136年の歴史をもつ東京都養育院を母体として 1972年に創設され、老年医学を牽引してきた東京都老人医療センターと東京都老人総合研究所が、2009年 4月に統合して設立された高齢者の急性期医療を専門とした総合病院です。2006年 11月から造血幹細胞移植を導入、さい帯血移植を 2008年 11月から開始しました。当初から他の専門部署とともに血液内科ではなくセンターとしてのチーム医療として行ってきました。

当センター血液内科の特徴は、65歳以上の症例に対して、臍帯血ミニ移植を数多く施行していることです。高齢者は、多くの合併症と加齢と言う臓器機能低下を併せ持つため、化学療法のみならず、いくらミニ移植とは言え、マネージメントに苦慮します。

高齢者さい帯血移植後免疫抑制剤の使用に関して、ターニングポイントになった症例をご紹介します。

72歳女性、急性骨髄性白血病 (AML M0)2回の寛解導入療法で何とか寛解に至った症例。当然血縁ドナーは無く、骨髄バンクに登録しても寛解維持期間がきわめて短いと考えられ、ご本人、ご家族と相談しました。ご本人に「なぜ移植を受け、病気を克服して何をしたいのか?」と質問をしました。「孫の成人式が見たい、ひ孫の顔が見たい」と即答されました。多くの高齢者の方は、「先生にお任せします」と言うお任せ医療が多いなか、自身の意思を明確にし、さらにご家族の方の同意と協力を得ることができ、2010年にさい帯血移植を行いました。抗ヒト胸腺細胞ウサギ免疫グロブリンを含んだ前処置を選択し、生着はスムーズで、移植前処置の副作用も感染症もなく順調に経過しました。1ヶ月後に免疫抑制剤を経口に変更しましたが、この頃より白血球が減少し、ドナー細胞がどんどん減少していきました。過去に同様な症例を経験し、免疫抑制剤を減量し、そのまま生着不全になった苦い経験より、逆に免疫抑制剤を増量したところ、白血球とドナー細胞が急激に増加しました。その後急性 GVHDが発症しましたが、治療にて軽快消失、慢性 GVHDや再発もなく、現在元気に外来通院しています。この症例経験から、多くのことを学び、キメラズム解析の重要性と高齢者での免疫抑制剤の使用方法の1つではないかと考えています。

2013年度春に病院が新しくなります。血液内科病棟は全室無菌室で計 36床、そのうち個室は 14床に増床され、高齢者にやさしい移植の確立を目指したいと思います。

採取病院紹介 第17回

関西労災病院

産婦人科副部長 堀 謙輔

当院は、尼崎市の西北部、国立公園六甲山を仰ぐ風光明媚な武庫川沿いに位置し、阪神間における急性期高度医療を提供する中核病院として、勤労者医療と地域医療の推進に積極的に取り組んでいます。

特に、当院が所在する尼崎市は、人口46万人余りを有する大都市でありながら市民病院がないことから、市民が健康管理面において当院へ寄せる期待は殊のほか大きく、「地域に生き、社会の要請に応える病院」を目指しております。

さて、これまで、兵庫さい帯血バンクのある兵庫医科大学とは車で約10分の距離にありながら、バンク事業に協力できていませんでした。

きっかけは、患者さまからの1通のメールでした。どうしてバンクに協力できないのか？という問い合わせでした。かねてより、私自身も義理の姉が臍帯血移植でお世話になったこともあり、協力をしたいとは思っていましたが、看護部、事務方、検査部など、各部署との調整、たくさんの書類の提出や倫理委員会の出席など、ハードルが多く、忙しさにかまけて、手を付けずにいました。

そんな時に、患者さまからのメールが重たい腰を上げさせてくれました。患者さまからの声であったので、各部署のスタッフも一丸となって協力してくれました。

結局、やはり手続きには相当の時間を要してしまい、メールをいただいた患者さまの分娩には間に合いませんでしたが、患者さまの「世の中の役に立ちたい」というお気持ちには沿えたのではないかと考えております。



新たな命のネットワークを

神戸市 田中 智瑞

私が、さい帯血の提供を決めたのは、母からのすすめもあったのですが、私のもとに授かった、新たな命が、また新たな命のネットワークをつなげていく。そのネットワークを少しでも長く、多くの人につなげていけたらと思ったからです。

プライベートバンクとは違い、赤ちゃん本人、身内のためだけでなく、この世に生きて、闘病生活をしている人たちの生きる力になれるのなら、すすんで協力したいと思います。

人は、一人では生きていけません。私の決断が、他の命を救い、そしてそこから生まれるつながりが、また自分にも返ってくると思っています。この思いが決め手です。



兵庫さい帯血バンクの活動ご報告



採取病院 巡回勉強会

衛生検査技師 水野 真生

今年度の採取施設巡回勉強会は兵庫医科大学輸血部甲斐教授と今年入職した者が事務局同行の下、採取施設を訪問させていただいております。

勉強会の内容は、前年度さい帯血の採取から移植までの状況、「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の確保に関する法律」についての説明、質疑応答、意見交換等です。

また、兵庫さい帯血バンクキャラクターの「ころちゃん」が決まりましたことについてもお伝えしました。

今回、初めて勉強会に参加して普段、電話でのやり取りでお世話になっている採取施設の方々とお会いすることが出来て、さい帯血をどのように採取しているのかなどといったお話を聞くことが出来、大変勉強になりました。また、今回初めて採取施設に訪問させて頂き、遠いところからも搬送されていることを知り、兵庫さい帯血バンクはたくさんの方に支えられて成り立っているのだということを改めて実感しました。

これからも採取施設の方々をはじめ、搬送ボランティアの方々、たくさんの方の協力を無駄にしないように多くの患者さんにさい帯血を提供出来るよう、努力してまいりますので今後ともご協力お願い致します。



8/28 久保みずきレディースクリニック 様



8/30 上田病院 様



8/2 高橋産婦人科クリニック 様



9/13 医療法人パルモア病院 様



8/3 松岡産婦人科クリニック 様



9/24 兵庫県立西宮病院 様



8/7 オカ・レディース・クリニック 様



9/25 関西労災病院 様



2012 9/15 骨髄バンク・さい帯血バンク 合同全国大会 in 伊豆

臨床検査技師 藤田 和也

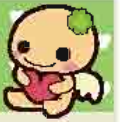
今回、初めての骨髄バンクとさい帯血バンクの合同大会でした。昨年、東日本大震災の際にも協力して患者救命にあたった事例などを含め、両バンクとの新たな関係を築く大変大きな意味を持つ大会でした。

会場には、患者さんやドナーの方々に参加されており、実際の現場の声を聴きながら、一般の方々にも理解しやすい内容で、それぞれのバンクの現状や問題点などが協議されました。患者さんからは、自己負担や手続き短縮の問題 — ドナーさんからは、家族同意や患者さんとの対面の問題 — バンクからは、普及・啓発活動不足や 一体化の問題 — これからは両バンクが協力・一体化し、検索をより良い環境にし、患者さんの希望となるように、3種類の移植法（骨髄移植・末梢血幹細胞移植・さい帯血移植）のうち、疾病の種類やステージに応じた最適な移植法を選択して実施できる体制を整備されていくことが望まれます。

ご支援の皆さまありがとうございます

2012
5/13

西宮ホワイトライオンズクラブ様結成10周年記念式典



結成10周年おめでとうございます。式典においては併せて寄付の贈呈式も行われ、当バンク宛てにさい帯血搬送ボックスが寄贈されました。また、妊婦さんへ配布される母子手帳等を入れる手提げ袋が西宮市宛てに寄贈されました。



2012
8/23

兵庫県献血功劳感謝のつどい

大森産婦人科医院様 あさぎりカトレアグループ様 西神白ゆりグループ様

平成24年度兵庫県献血功劳感謝のつどいが開催されました。当バンクの関係では、団体の部で大森産婦人科医院様(高砂市)が、また個人の部で林邦子様(あさぎりカトレアグループ)、片山廣子様、坂東治代様(お二人;西神白ゆりグループ)合計3名の搬送ボランティアさんが兵庫県献血推進協議会長の感謝状をお受けになりました。



仙台



兵庫さい帯血バンク報告

6月22日 兵庫さい帯血バンク理事会・総会の開催 5名の新役員が選任

兵庫医科大学内会議室にて理事会及び総会が開催されました。

理事会では、

- 第1号議案 平成23年度事業報告・収支決算(案)について
- 第2号議案 平成24年度事業計画・収支予算(案)について
- 第3号議案 役員を選任(案)について
- 第4号議案 理事長、副理事長、常務理事の選任について
- 第5号議案 委員会の委員委嘱について

の5議案が諮られました。異議なく理事圧倒多数の賛成があり原案のとおり承認されました。

総会には、理事会にて承認された上記第1号から第3号議案までが上程されました。質疑の後、正会員圧倒多数の賛成があり原案どおり承認されました。

以上の結果、役員関係では、石野順子、絹巻敏子、小森慎二、酒井 清、畑山裕子、伴 智代、丸橋正紀の各理事、並びに東田雅俊監事の退任及び、上田 認、小田美紀子、竹内清子、森本和子の新理事並びに藤原雅俊新監事の就任が承認されました。



会計報告

事業収支の実績と計画

(千円)

	第12期実績	第13期計画
収入		
会費	746	800
補助金収入	83,938	90,105
医療保険収入	25,404	61,200
受託金	1,268	1,268
寄附金	4,687	5,000
その他	3,257	500
計	119,300	158,873
支出		
事業費	103,442	124,085
管理費	10,158	15,760
計	113,600	139,845
収支差額	5,700	19,028

さい帯血事業の実績と計画

	第12期実績	第13期計画
さい帯血の採取	1,857 個	1,600 個
さい帯血の搬送	1,158	1,100
さい帯血の分離・調整・検査	453	470
さい帯血の保存	434	450



広報委員会開催

5月11日、平成24年度第一回広報委員会が開催されました。

啓発用絵本・同シールの調整及び「バンクだより第22号」についての協議がありました。

7月13日、平成24年度第二回広報委員会が開催されました。

バンクだより第22号発刊について、飲料自販機利用バンクPRについて、啓発用絵本の配布等についての協議がありました。



倫理委員会開催

9月14日、平成24年度第一回倫理委員会が開催されました。

「HLA homo 臍帯血からのiPS細胞の樹立と臨床用iPS細胞ストック作成に向けた性状解析と品質管理に関する研究」(京都大学iPS細胞研究所、先端医療振興財団の共同研究)へのさい帯血の提供についてが審査されました。

採取提携病院紹介

2012年9月30日 現在

西神戸医療センター	神戸市西区梶台5丁目7-1	兵庫医科大学病院	西宮市武庫川町1-1
オカ・レディース・クリニック	神戸市北区大原3丁目8-1	高橋産婦人科クリニック	西宮市和上町6-22
尼崎医療生協病院	尼崎市南成庫之荘12丁目16-1	久保みずきレディースクリニック	神戸市西区美賀多台3丁目13-8
あさざり病院	明石市朝霧台1120-2	上田病院	神戸市中央区国香通1丁目1-4
医療法人バルモア病院	神戸市中央区北長狭通4丁目7-20	松岡産婦人科クリニック	神戸市北区緑町1丁目6-18
兵庫県立西宮病院	西宮市六通寺町13-9	大森産婦人科医院	高砂市伊保港町2丁目5-17
マムクリニック	神戸市北区有野町唐櫃3389	関西労災病院	尼崎市稲葉荘3丁目1-89
市立伊丹病院	伊丹市昆陽池1丁目100		

ご協力ありがとうございました (2012年8月で採取終了) 清水産婦人科医院 様

お知らせ

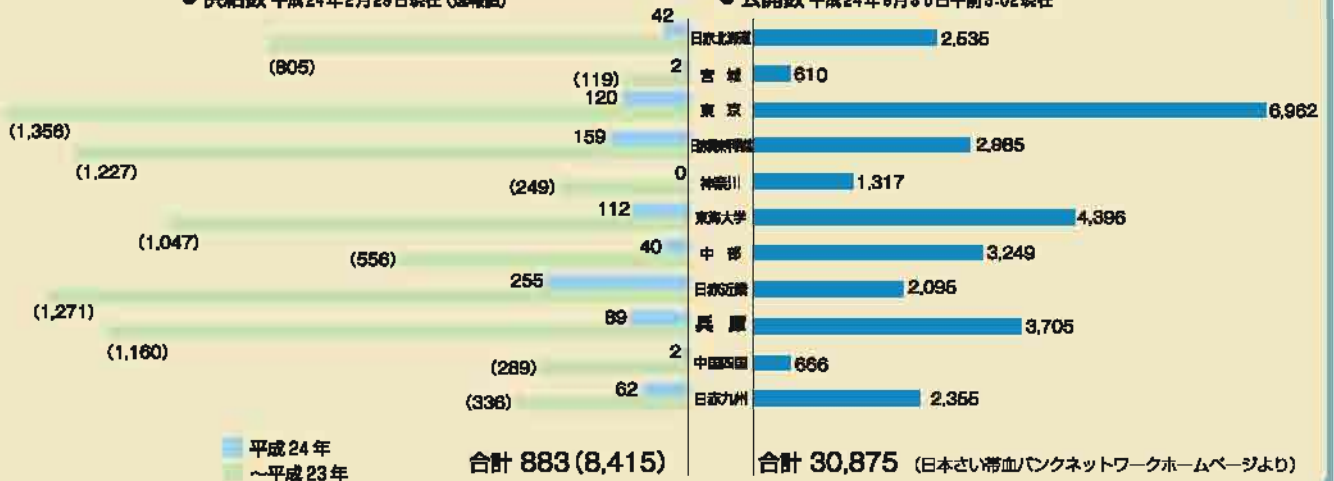
今年度さい帯血採取従事者・ボランティア合同研修会を平成25年2月19日(火) 兵庫県赤十字血液センター大会議室にて開催致します。

各バンク別 さい帯血供給数・保存さい帯血の公開数

2012年9月30日 現在

●供給数 平成24年2月29日現在 (2012年9月30日現在)

●公開数 平成24年9月30日午前3:02現在



認定NPO法人 兵庫さい帯血バンク 役員一覧

2012年7月1日 現在

役職	名前	所属	役職	名前	所属
理事長	後藤 武	公益財団法人兵庫健康財団 副会長兼理事長	理事	竹内 清子	西宮ホワイトライオンズクラブ 会長
副理事長	原 宏	医療法人財団樹徳会 上ヶ原病院 名誉院長		太城 力良	兵庫医科大学病院 病院長
	丸尾 猛	兵庫県立こども病院 病院長		藤見 信哉	医療法人バルモア病院 院長
	有田 美智世	さい帯血国際患者支援の会 理事長		馬 淵 理	兵庫県赤十字血液センター 所長
常務理事	堅田 博行	社団法人兵庫薬科研会 事務局長		三戸 壽	兵庫県赤十字血液センター 名誉所長
	小出 紀久男	国際ロータリークラブ 第2680地区ガバナー補佐		村山 徹	兵庫県立がんセンター 検査部長兼血液内科部長
理事	上田 聡	ライオンズクラブ国際協会 335-A地区 献血推進委員会 委員長		森本 和子	国際ソロプチミスト神戸 会長
	小川 啓 恭	学校法人兵庫医科大学 血液内科主任教授		慶山 充夫	神戸新聞社 副社長兼役員
	小田 美紀子	公益社団法人兵庫看護協会 専務理事	監事	森田 泰夫	学校法人兵庫医科大学 常務理事
	甲斐 俊 朗	学校法人兵庫医科大学 輸血部長		藤原 雅人	日本赤十字社兵庫支部 事務局長
	川真田 伸	公益財団法人先端医療国際財団 先端医療センター研究所 再生医療基礎研究グループ グループリーダー	顧問	芦尾 長司	兵庫県顧問 神戸山手学園 理事長
	岸本 洋子	兵庫県弁護士会所属弁護士		新家 莊平	学校法人兵庫医科大学 理事長
	小阪 嘉之	兵庫県立こども病院 血液腫瘍科部長	参与	米谷 収	国際ロータリークラブ第2680地区 パストガバナー
	高橋 隆幸	医療法人社団神朝会神朝病院 血液病センター長		大谷 光男	兵庫栄徳 副理・製菓専門学校 非常勤講師

新しい命が もう一つのいのちを救う

あなたも兵庫さい帯血バンクのサポーターに!!



さい帯血の提供者
採取提携病院でお産をされた
妊婦様より提供された
さい帯血

**母親学級説明
ボランティア**
母親学級で説明します。

搬送ボランティア
産科病院からバンクまで
さい帯血をはこびます。

**寄付・賛助会員
による
ご支援**

**絵本
「しあわせのおくりもの」
贈呈運動へのご協力**

**兵庫
さい帯血
バンク**

♥ **兵庫さい帯血バンクからのおねがいです。**
あなたの真心を募金にかえてバンクへの財政支援をお願いします。現在、国庫助成金を中心とした運営をしていますが、円滑な事業運営のためには皆様のご支援が必要です。

● 賛助会員 個人 年会費 1口 2,000円
 団体 年会費 1口 5,000円

寄付金・賛助会費振込先

郵便振替 00930-8-37864
兵庫さい帯血バンク

編集後記

造血幹細胞移植法の成立により当バンクも、国の許可を得て事業展開する事になります。責任をより一層高め他の公的バンクと力を合わせて移植医療に貢献してまいります。更なるご支援、ご協力をお願いします。

(広報委員会一同)

国定NPO法人 兵庫さい帯血バンク

事務局 西宮市武庫川町1-1 兵庫医科大学内
TEL. 0798-45-6780 FAX. 0798-45-6781

発行日 平成24年9月30日
発行者 後藤 武
編集者 有田 美智世

日本さい帯血バンクネットワークのリーフレットより一部引用させて頂きました。
記載のデータは、日本さい帯血バンクネットワーク事業運営委員会の資料に基づきます。